

〈木育〉発祥の地ならではの存在が、北海道独自の木育マイスター制度です。毎年意欲ある人材が認定を受け、道内各地で〈木育〉を推進しています。そんな木育マイスターのさまざまな取り組みをご紹介します。

木とふれあい、
木に学び、
木と生きる

〈木育〉の理念

〈木育〉という言葉は、北海道で行政と住民による「木育推進プロジェクトチーム」により平成17年3月に生まれ、さまざまな分野の方々が協働で取り組む道民運動となりました。4年後の平成20年には北海道森林づくり基本計画に、平成28年には北海道森づくり条例に、「〈木育〉の推進」が新たな項目として追加されています。

木育マイスターは、この役割を担う専門家として誕生しました。平成22年度開始の木育マイスター育成研修の修了者が1期生です。12期生を輩出した令和3年度までに認定された木育マイスターの総数は299名。森や木工などの専門知識を生かし、道内各地で〈木育〉普及の多様なアクティビティを主導しています。



MOKUJU MEISTER

人と森の「間」に入って、 快適に過ごすお手伝い

人々が森や木と共生する文化をつくっていききたいと願う崎川さん。第44回全国育樹祭では、想像以上に幅広く、創造的で実の伴った多数の〈木育〉活動の報告に大きな刺激をもらい、同時に旧交を温めることもできたといいます。

4年前に設立した会社では木製知育玩具「森のピタゴラス」を開発し、日常的に触れられる〈木育〉体験の機会を提供。さらに利用者の声に応えるため新たな機会の創出として、現在札幌市南区駒岡で〈木育〉を軸とした「放課後等デイサービス」の開所を準備中です。

今後さまざまな活動は展開しつつも、樹木医としての自分を大事にし、「身近な木や森と気持ちよく過ごすために、人と木の「間」に入ってお手伝いができたら」と、展望を語ります。

合同会社 森のピタゴラス
NPO法人 ezorock

崎川 哲一 さん

2016年度第7期木育マイスター認定

1991年、石川県白山市生まれ。NPO法人で都市農村交流事業を担当しながら、木製知育玩具の会社を設立。北海道大学大学院農学院環境資源学専攻修了。樹木医

地域の魅力を生かして 〈木育〉を根付かせたい

子どもたちと森で遊ぶ仕事が多かった大竹さんは、森や〈木育〉を学ぶため木育マイスターになりました。以来、行政や企業から全国育樹祭関連での声かけが増加。活動範囲が広がり、自然と触れ合う機会も増えたと喜びます。

現場では、昔の「木育=木のおもちゃ」から脱却し、「あれも木育、これも木育」というテーマの浸透を実感。全国育樹祭が、多くの人に〈木育〉に興味を持ってもらうきっかけになったと考えています。

「今後はそれぞれの地域の魅力を生かした活動で〈木育〉を根付かせたい」と話す大竹さんは、今年度から沼田町幌新地区で「ほろしんの森」を開拓中。馬搬や里山畜養なども採用し、意欲的な取り組みを展開しています。



MOKUJU MEISTER

沼田町地域おこし協力隊
観光支援員

大竹 将太 さん

2019年度第10期木育マイスター認定

1993年、札幌市生まれ。大学卒業後、ホーストレーナーやNPO法人での農泊推進、観光コンシェルジュなどを経て、昨年からは現職。自然学校の立ち上げに励む。

「あれも木育、これも木育」 活動の要は木育マイスター

全国育樹祭で弾み。広がる〈木育〉

子どもたちが豊かな感性を 発揮できる環境づくり

子どもの好奇心や発達に寄り添った遊びを通して、造形と自然体験の楽しさを伝えている道場さん。幼少時から自然に親しみ、木が大好きで、木育マイスター認定も自然な流れだったようです。

「研修での学びが現在も意欲的に活動できている原点」と語り、職業も得意分野も異なる木育マイスターとの新鮮で刺激的な出会いも糧に。「今までにない経験ができるのは、〈木育〉という共通理念をもった仲間を支えられているおかげ」と振り返ります。

今後は、畑などを活用して素材の調達から始めるワークショップを構想。草木染めやグリーンウッドワークにも挑戦して、子どもたち一人ひとりが豊かな感性を発揮できる環境を目指します。



MOKUJIKU MEISTER

素材あそびと自然あそび
『ちいさなはっぱちいさなき』 **道場 祥子 さん**

2020年度第11期木育マイスター認定

1978年、余市町生まれ。保育士として保育園勤務した後、自然体験事業スタッフとして活動。造形教室と自然体験教室の札幌市内2拠点で、子どもたちの豊かな遊びを支援。



MOKUJIKU COLLABORATION

〈木育〉コラボ企業

三井不動産商業マネジメント(株)
三井アウトレットパーク北広島

今年は昨年以上に 〈木育〉に注力する予定

SDGsに取り組む同社では、家庭で不要になった衣類を回収し世界各国の難民や被災者へ寄贈する「&EARTH 衣料支援プロジェクト～あなたの服で世界に笑顔を～」などの活動を行っています。

その関連で、三井アウトレットパーク北広島では、子どもからお年寄りまで楽しめ、北海道の良さが感じられるイベントテーマとして〈木育〉に着目。木育マイスターと協力し、館内での木育教室や直接森に出向くフィールドワークを開催しています。「驚いたのは〈木育〉が初めてだったお客様に、2日連続の参加が多かったこと。木育の魅力は未知数であると感じさせられました」と催事担当の藤本雄大さん。今年は昨年以上に〈木育〉に注力していく予定です。